

マンガふるさとの偉人

# 不屈の魂

〜荒佐野を拓いた人たち〜



発行:鹿兒島県大崎町 漫画:あさごはん



## ごあいさつ

おおさちちよう  
大崎町では、「おおらか・さわやか・きわやかな大崎の教育」を合言葉に、ふるさと大崎に愛着を持った子どもたちに成長してもらえよう、様々な施策を講じています。

この度、大崎町の偉人をより多くの子どもたちや住民の方々に知って身近に感じていただくために、偉人マンガの制作に取り組みました。大崎町には、各地域に移住の歴史があります。マンガに登場する荒佐野地区は、遠く大阪（現泉佐野市）から「出原次左衛門」らが移住してきた歴史があります。このマンガを通じて先人の苦労や移住の歴史等を学び、大崎への誇りや郷土愛、地域社会の一員としての自覚を持つていただきたいと願っています。

制作にあたりご協力をいただいた皆さまに、心より感謝申しあげます。

おおさちちようきよういくちよう  
大崎町教育長 穂園 正幸

マンガふるさとの偉人

# 不屈の魂

〜荒佐野を拓いた人たち〜



発行:鹿児島県大崎町 漫画:あさごはん



## 出原次左衛門

いずはら じざぶろもん

摂津の国の郡奉行。先陣を切つて大隅に移住。様々な調査や薩摩藩との橋渡し役を担った。

## おもな登場人物



## 崎山レイ

野方小学校6年の歴史女子。歴史クラブに所属しており、イケメン武将に目がない。



## 島津豊久

しまづ ぶんきゆう

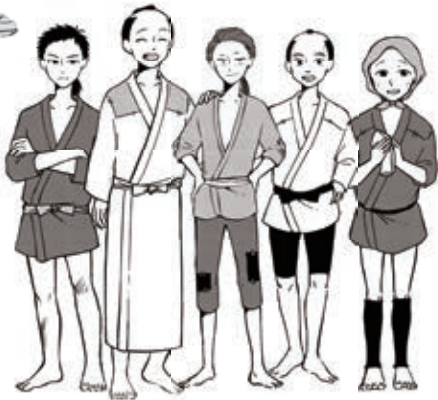
伯父の島津義弘が関ヶ原で敵中突破を図った際、東軍の進行を食い止め、非業の死を遂げたヒーロー

## おおた 大田ケン

野方小学校6年の歴史大好き少年。戦国武将のカッコいい姿にあこがれている。



摂津国（現大阪府）一帯からの移住者たち。その数は120名にもものぼり荒佐野の基礎を築いた



# もくじ

プロローグ	4
コラム① 横瀬古墳	13
第1話 どうか叔父上を薩摩へ	14
コラム② 雛菊双雀文様鏡	21
第2話 太閤はんの頃は良かった	22
コラム③ 都萬神社	35
第3話 なんちゅう土地やねん	36
コラム④ 棒踊り	51
第4話 まず水や、水を探さな	52
コラム⑤ 照日神社神舞奉納	67
第5話 わてらも、やったるわ	68
コラム⑥ 資源リサイクル日本一	86
第6話 荒佐野の未来を担うのは子どもたち	88
エピローグ	101
資料・委員による寄稿	106

織田信長



徳川家康

豊臣秀吉



武田信玄

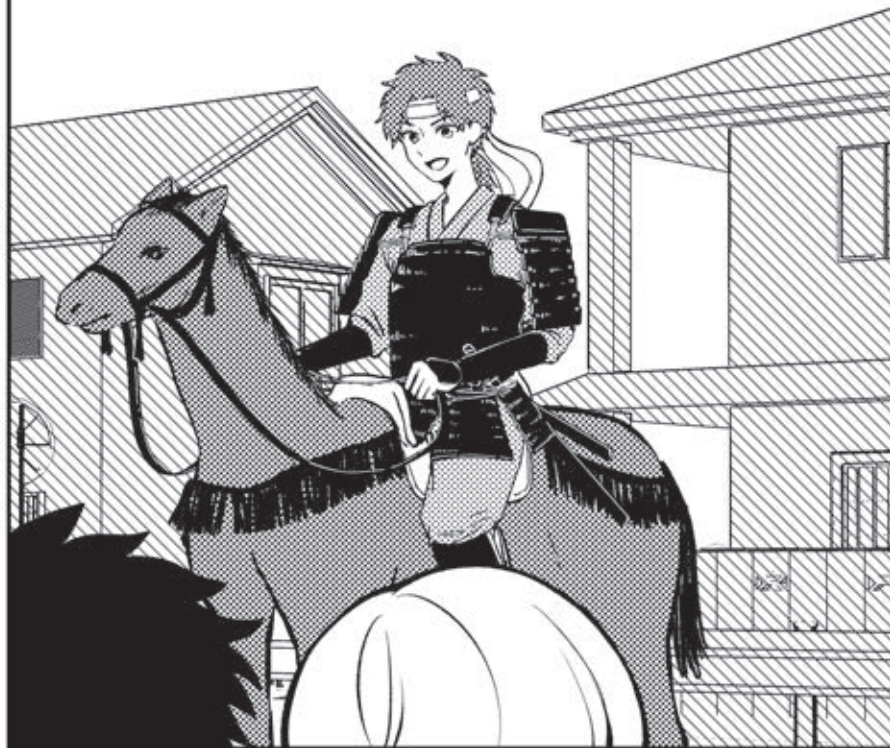












よお  
驚か  
せて  
すま  
ぬ

わしは戦国時代に  
薩摩のために  
戦った…

しまづとよひさ  
し、島津豊久様～!?



本物!?

どっ  
どうして  
こんな所に!?  
いえ、こんな時代に!?

お前たちの  
歴史を想う心に  
呼び寄せられ  
たどり着いたようだ

しばらく  
この馬で時空を  
旅しておつたが

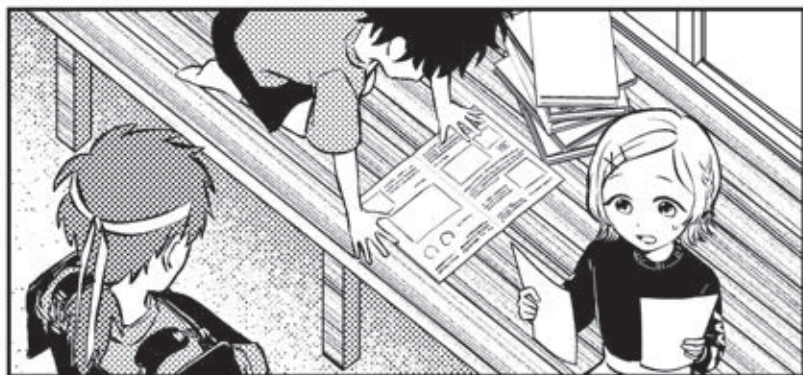
それで  
二人はどこ  
の子かな?

同じく  
レイです  
歴史クラブに  
入っています

ぼくは  
野方小学校  
6年の  
ケンです!

戦国武将  
大全











こ だ い

# 古代のロマンがひろがる県内 で 2 番めに大きい前方後円墳

きょうど おさ  
郷土をどんな人が治めていたんだろう？

やまじだい こふん  
弥生時代の終わりになると、豪族や王が大きなお墓である古墳をつくるようになった。2 世紀から 6 世紀くらいまでだけど、大崎町には 5 世紀の半ば頃につくられた横瀬古墳がのこっているんだ。古墳はカギの形をした前方後円墳で、長さが約 140m、幅は前方部で最大 88m、高さが約 10m もあるんだ。鹿児島県では 2 番めに大きいよ。

はくつ えんとうほにわ  
発掘された時に、写真のような円筒埴輪などがたくさん出てきて、これらは古墳に並べてあった。埋葬者を入れた棺を置く場所を石室というけど、横瀬古墳の石室は朱塗りで、中から刀や甲冑、勾玉などが出てきた。埋葬された人はわからないけれど、このあたりを治めていた権力者であったことはまちがいないね。

よこせこふん じんりようこふんぐん  
横瀬古墳だけじゃなく神領古墳群も

みぞ  
横瀬古墳で覚えておいてほしいのは、古墳のまわりに二重に溝があったこと。めぐらされた溝のことを周溝というけど、内側と外側に二重の溝の跡が平成 22～23 年に大崎町教育委員会が行った発掘調査で見つかった。町内には横瀬古墳だけではなく神領古墳群があり、志布志湾に沿って並んでいる。海の道を考えて、大和政権と南西諸島や大陸とを結ぶ中間の位置に大崎の古墳群があり、古代のロマンがひろがるね。



横瀬古墳西側の上空より志布志湾を望む



発掘された円筒の埴輪

# ■ 第1話 どうか叔父上を薩摩へ





慶長5年(1600年)  
徳川家康を総大将  
とした東軍と

毛利輝元を総大将  
とした西軍の  
両陣宮が関ヶ原  
で戦った

島津義弘公は  
豊久様の叔父に  
あたる方です

勇猛果敢な  
武将だったん  
ですよ

島津軍は  
西軍として  
参戦したが

まわりを  
敵に囲まれ  
大将島津義弘は  
敵中突破という  
奇策に出た

そうだ  
ただ関ヶ原  
では手勢が  
少なく

敵中突破という  
策に打って出た  
のだ









義弘公は  
反対なさった  
でしょう？

引き止め  
られたが、  
最後のわし  
の進言を  
聞き入れら  
れ、手勢を  
連れ、西の  
方へ向かわ  
れた

それで豊久様は  
奮闘むなしく…

うわあ  
泣き  
ちゃう  
わ



わしのよう  
な若者より  
も叔父上が  
薩摩にと  
つて大事だ  
からなん  
とか生  
き延び  
て薩摩へ  
帰りて  
着いて  
欲しかった

薩摩へ帰る  
際にも  
ずいぶん  
苦労  
でした  
ようね



そうだな  
いくら百  
戦錬磨  
の叔父上  
でも  
ずいぶん  
ご苦労  
な  
さ  
つ  
た  
み  
た  
い  
だ

けわしい  
山中を  
駆け抜  
ける  
から  
わ  
け  
ね  
す



ただな  
摂津国を  
通る時に

地元の百  
姓が  
食事を  
ふるま  
つたり

けがの手  
当てを  
してく  
れたり  
ずいぶん  
お世話  
にな  
つた  
そう  
だ

摂津の国  
の人たち  
が  
ですか  
?







# むずかしい名前だけど、鏡に描いてあるものを見ていけばオモシロイ

どんな人がいたんだろう

マガキニキクソウジャクモンヨウキョウ…なんか、お経きょうをとなえているようなむずかしい名前だね。最後に「鏡きよう」があるから、鏡の名前かなと想像できる。その手前もんぜんが「文様もんよう」だから、なにかの文様ってことだ。では、その前の「双雀そうじゃく」というのは、双は二つ、雀はすずめだから二羽にわの雀が文様のどこかにいるということかな?…ということで、よお〜く見ると、いたいた。点線で囲った部分に二羽の雀が飛んでいるよね。

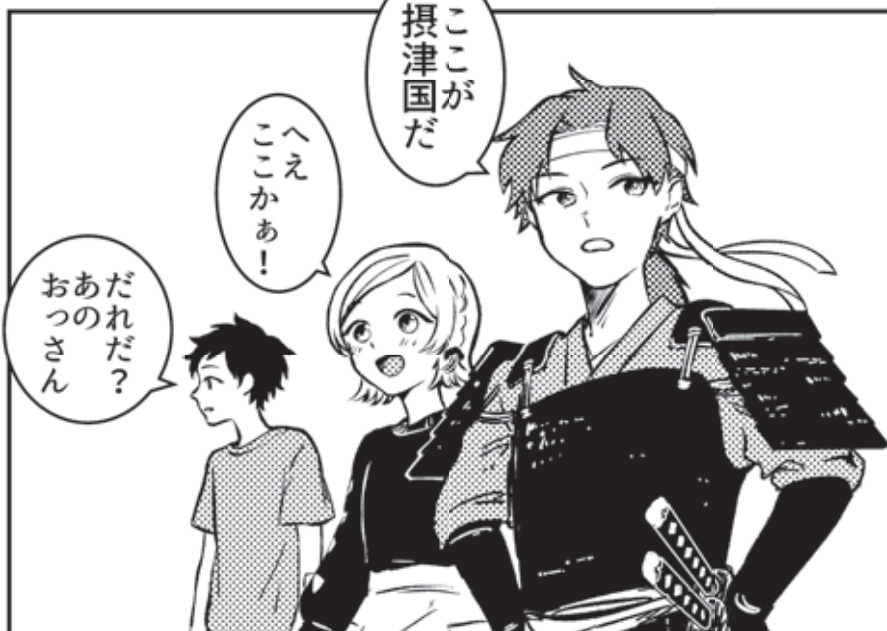
そして、すずめの前の「雛菊まがたにきく」だけど、籬とは竹や柴などで目をあらく編んだ垣根かきねのことなんだ。間垣とも書くけど。鏡の下の方に垣根らしきものが、しっかりと立てられているね。最後は菊だけど、これは鏡の全面に正面から見た菊の花がいっぱい描いてあるからわかりやすい。お経のようだった鏡の名前の意味も、こうやってひとつひとつ漢字の意味を調べていけばわかるんだよ。

では、この鏡は大崎町のどこにあったのでしょうか?答えは仮宿かりじゆくの都萬つま神社じんじやだけど、都萬神社つまじんじやにいつ、だれが納めたのかわからない。この鏡は銅製で、都萬神社には 50 面以上の鏡がのこされているそうだ。昭和 25 年には国の重要指定文化財になっている。今は、町の中央公民館に保存されているよ。鏡は人の姿すがたかたちをうつすだけではなく、人の心しんせいや神様の心もうつつし出す神聖なもので、神社のご神体しんたいにしたり祭りの時に使ったと言われているんだ。





## ■第2話 太閤はんの頃は良かった





このおっさん  
いやこのお方は  
出原次左衛門と  
いうてな

摂津国の  
郡奉行さんだ

郡奉行って  
何ですか？




農業のこと  
地域の百姓  
さんと一緒に  
考えたり

まあ  
地域の行政を  
つかさどる人  
のことだな



地域の  
測量の  
すたりを  
するんだ



それにかで  
台風は  
川がは  
しない  
よう  
らに

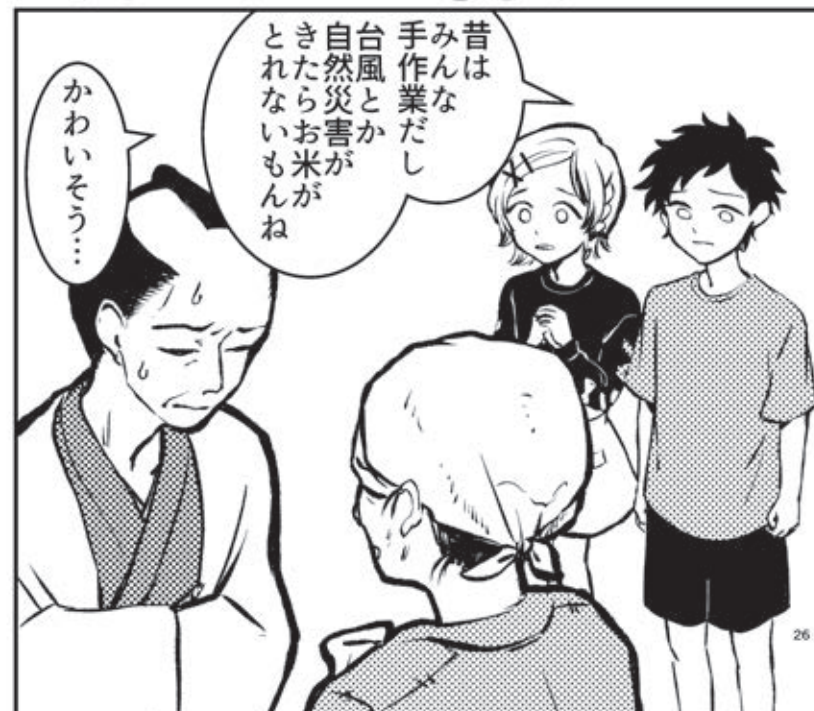
堤防工事を  
行うなど  
土木工事を  
したりする

さらに  
大切な年貢  
を集めたり

人々の  
生活に関わる  
ことすべてを  
やっつてのけるんだ









八十八って  
なんですか？

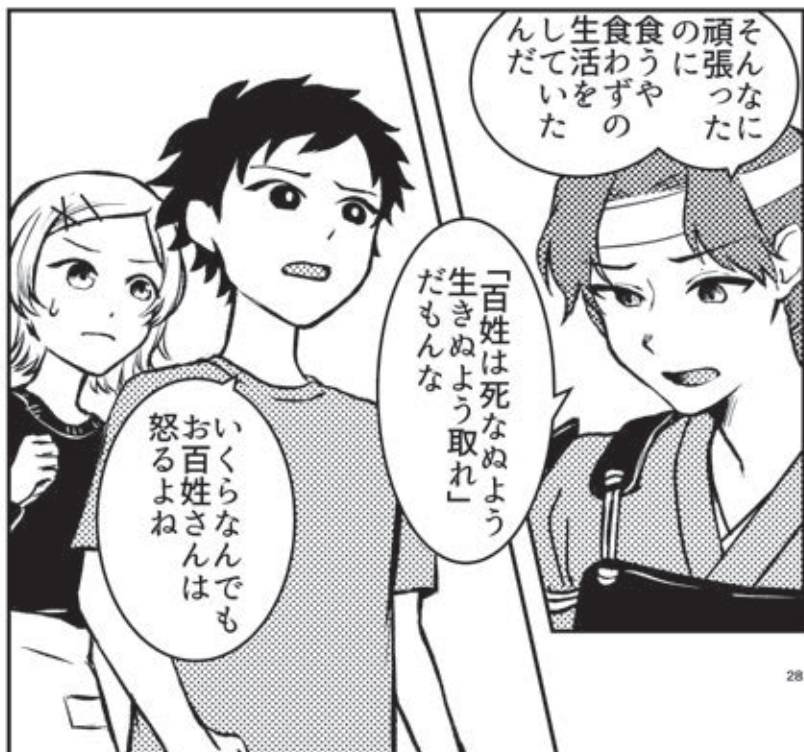
八  
十

米という字を  
分解すると  
八十八となる

つまり  
田植えから  
刈り取るまで  
八十八日か  
かかると  
いわれる

あたりまえの  
ように食べるけど  
感謝しないと  
いけないわね

米





摂津国  
今の大阪だけど

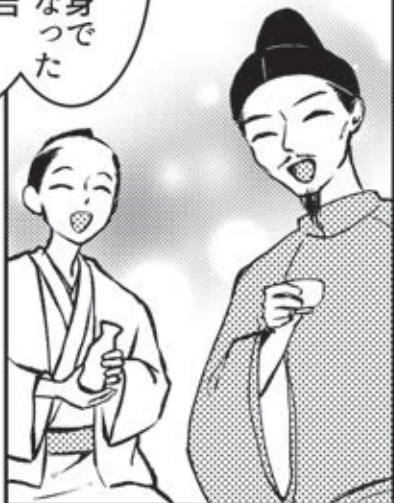
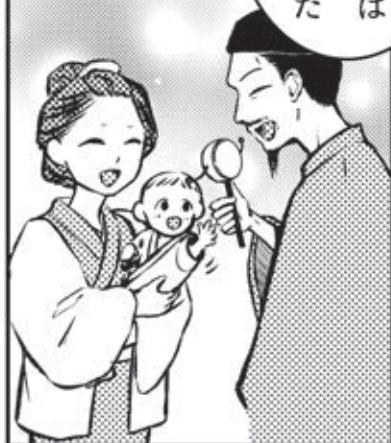
ここは  
豊臣秀吉が  
天下人になって  
大阪城をつくった

それから  
どんどん発展  
して商人の  
まちとなった

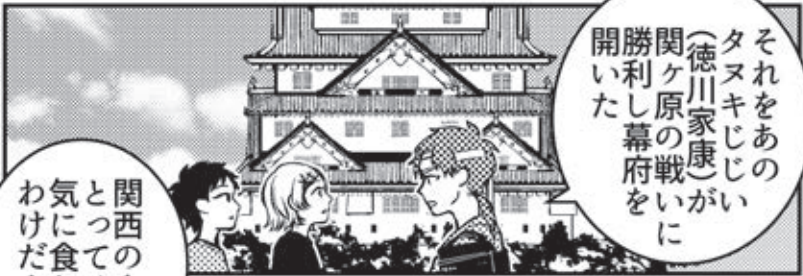


もともと  
百姓の出身で  
天下人になった  
豊臣秀吉


(太閤さん)は  
気さくで  
人気があった  
んだ



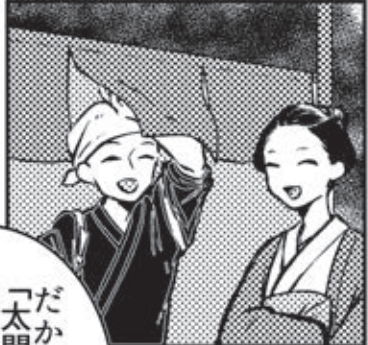




それをあの  
タヌキじじ  
(徳川家康)がい  
関ヶ原の戦いに  
勝利し幕府を  
開いた



関西の人に  
とっては  
気に食わない  
わけだよ



だからみんな  
「太閤はんの頃は  
良かった」って  
昔をなつかしん  
でいるんだ





お奉行様  
ここでは生活  
できまへん  
どこか食べて  
いける土地を  
探していただけ  
ませんか

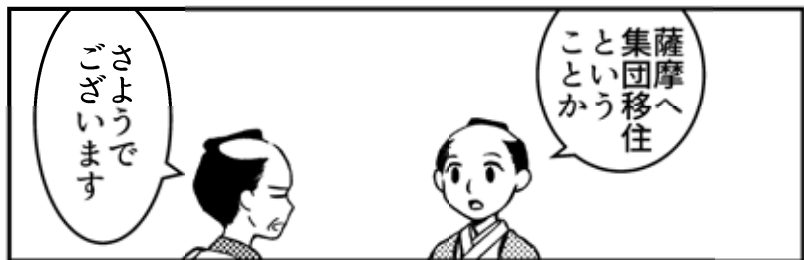
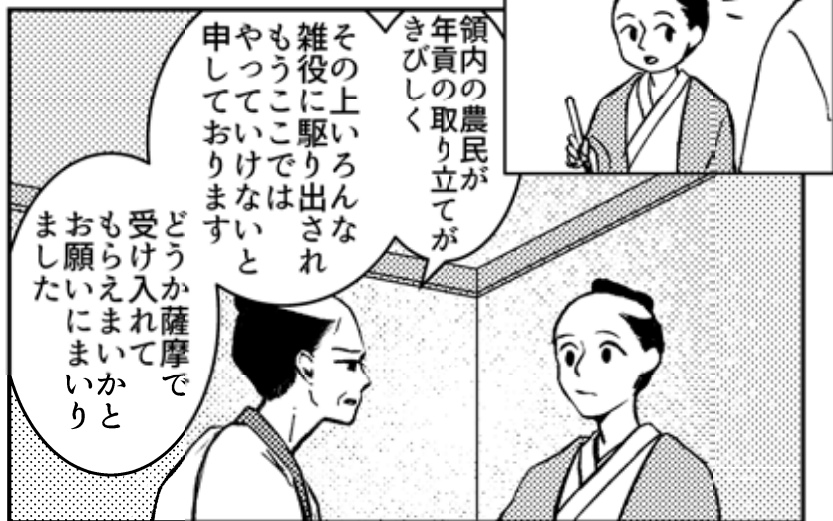
そうよのう  
幕府が  
なにかと  
取り立てて  
来るし  
大変よのう

皆の衆

お前らの  
言い分はの  
よおわかつた

この出原次左衛門  
今よりもつと  
住みよい土地を  
探すから  
もつと時間をくれ







# 島津義弘公など戦国武将も大切にした女神様をまつる神社

安産の神様として女性の参拝者が多い

コラム2でお話した美が巻にまぐさうしやくもんほうまよう雛菊双雀文様鏡が見つかった神社が都萬神社だったね。古代日向国の5つの郡にあった都萬神社のひとつということだけひゅうがのくにど、もともとは志布志市有明町にあったんだ。しかし、天文9年(1540)に火事で焼けてしまう。武田信玄とか戦国武将が活躍し始める頃だね。それで都萬神社を再建しようということになったんだけど、有明ではなく今の場所に移したんだ。移した理由はよくわからない。

戦国時代には何度も戦っている大隅の肝付氏と薩摩の島津氏は都萬神社を崇拝すうはいしていて、大切に守ってきた。この偉人マンガに登場する島津義弘公も神社の改築などをしているよ。江戸時代後期に薩摩藩が編さんさんした『三国名勝図会』という領内の地誌や名所を記した本があるけれど、その中にも都萬神社のことが書かれているんだ。今は文化庁の登録有形文化財となっている。

では、この神社の祭神さいしんはというと、コノハナサクヤヒメという女神様なんだ。コノハナサクヤヒメは『古事記』や『日本書紀』などに登場し、火の中で子どもを産んだということで安産の神様とも言われ、女性の参拝者も多い。みんなも一度は神社に参ったことがあると思うけど、今度来た時は本殿ほんでん北側の壁かべの上部ねうしとらえとを見て欲しい。子丑寅と干支の動物たちが彫られているんだ。彫った人は伊集院久長という大工さんで、その技と美しさに感動するだろう。



ちようこく  
細やかな技が映える干支の彫刻

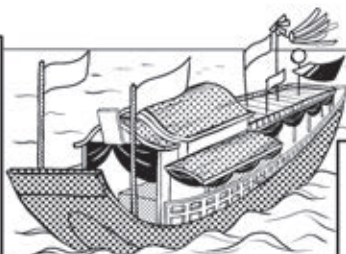
### ■第3話なんちゅう土地やねん





貞享<sup>ていこう</sup>2年4月  
(1684年)

移住先が  
決まってる



出原次左衛門は  
視察のために  
船で大隅を  
めざした

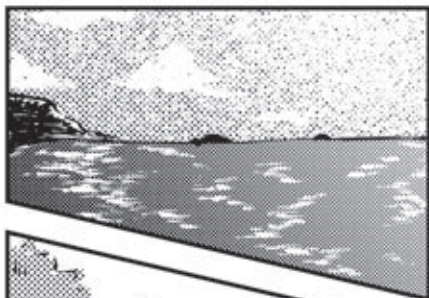
いやあく

あれが  
薩摩の国か



次左衛門様  
遠路はるばる  
ご苦労さまです

いやあ  
ツツジも  
出迎えてくれて  
ここはええとこや





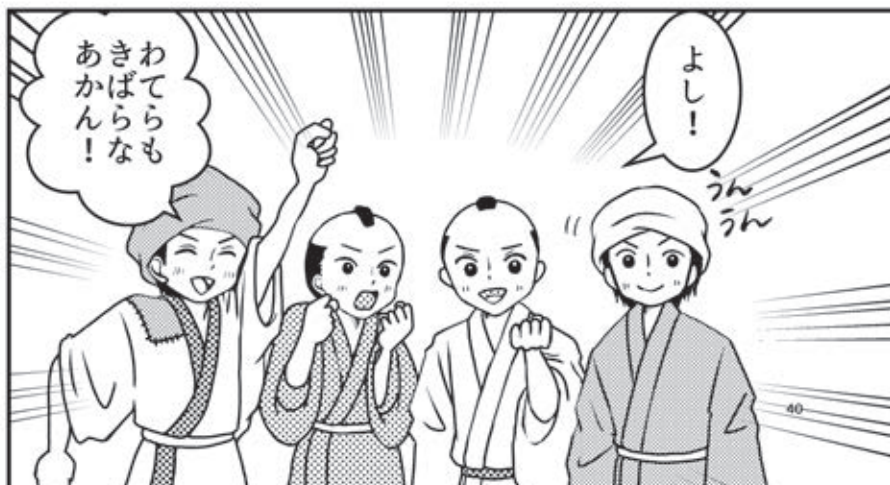


お疲れ様  
でした  
お奉行様



薩摩は  
ここよりも  
暖かくて  
緑も  
いっぱい

土地はこれから  
開墾せなあかんが  
きつとええ田んぼ  
になるぞ！



わてらも  
きばらん  
あかん！

よし！

うん  
うん



こうして  
元禄元年4月  
(1688年)

移住者の  
第一陣が  
柏原の港へ  
やってきた  
第一陣は  
次左衛門  
以下8名  
だった



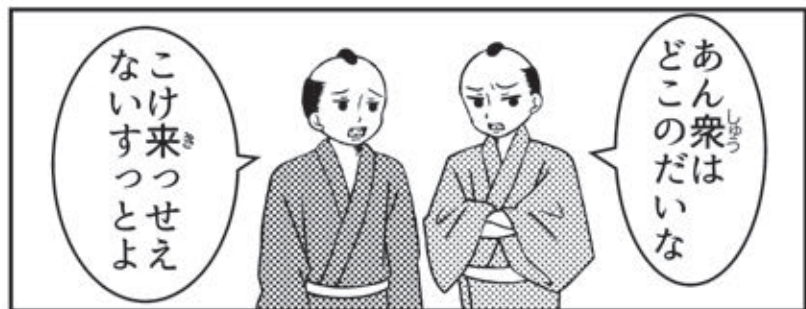
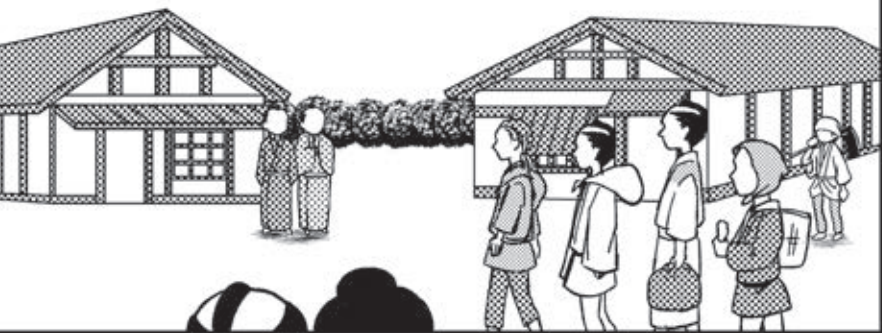
今々は  
我々の地  
に薩摩が  
降り立つた

今日は  
記念すべき  
日や最初は  
いろいろな  
苦労がある  
と思う

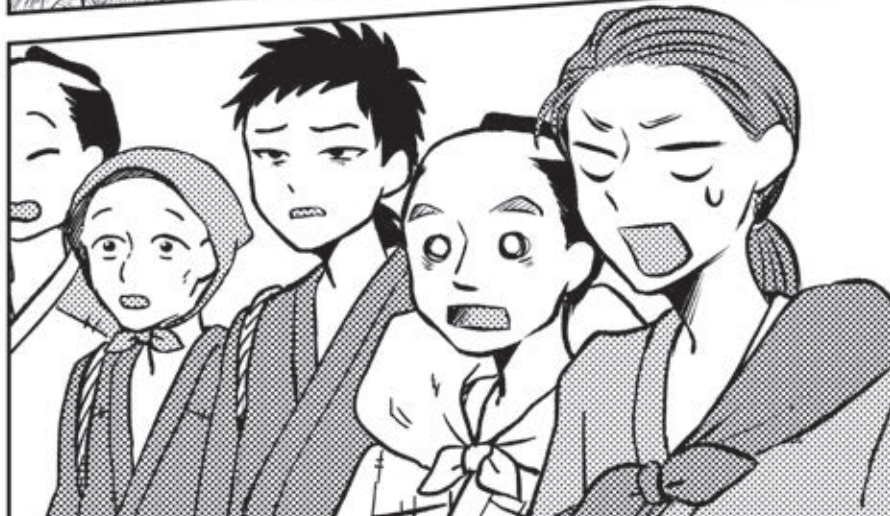
それでも  
みんなが  
持つとる  
なにか魂  
で困難に  
打ち勝つ  
んや

ええか  
それとこ  
こまで  
ようして  
くれた  
薩摩の  
人に感謝  
や





どん、





なんやっ……!

なんやこの土地はっ  
お奉行様の前で  
失礼とは思いますが

わてが暮らし  
とつた和泉の佐野  
の数倍も荒れ  
とるやんけ



荒佐野…荒佐野!  
なるほどそれはいい  
ここは荒佐野じゃ!



ハツハツハツ

そうか  
佐野よりも  
荒れとるか  
ならここを  
荒佐野と  
名付けよう  
ではないか



今は荒れとるけど  
絶対に豊かな  
土地にするでえ









こんな土地  
だから  
わたしは薩摩の  
お殿様に  
手紙を書いた

みんなよく  
ついでにきて  
くれた



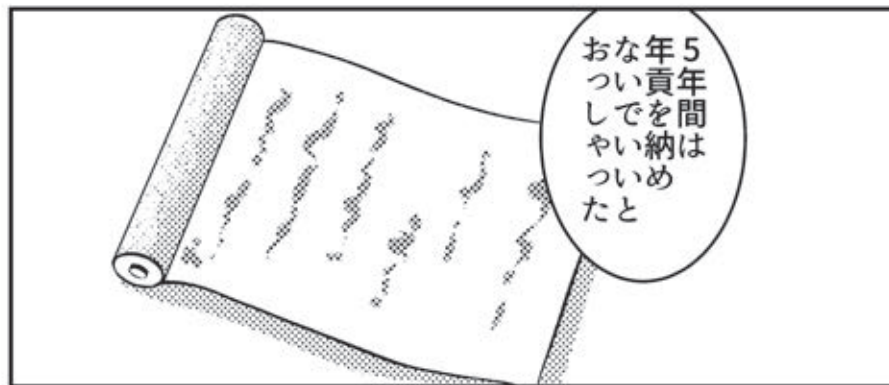
どうか  
ご配慮  
賜ります

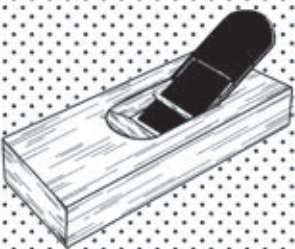
お殿様  
生まれ育った  
故郷を捨てて  
こちへ  
まいります



そなたたちの  
ことは聞いておる  
これからいろんな  
災難があるかも知  
しれない

そのためにも  
わしは助ける  
だけのつもりじゃ  
なにしろ  
義弘公の頃から  
そなたたちには  
ご先祖様には  
恩義がある  
からのう

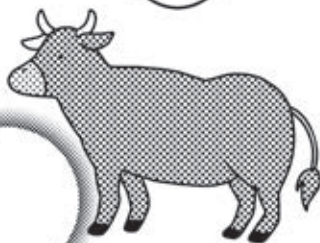




さらに  
家を建てる  
ための建材や  
大工道具



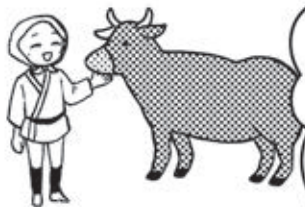
それに  
クワやカマなどの  
農作業道具



牛や馬まで  
与えてくださった

助かった

これでやって  
いけるわ!



ほんま  
島津の殿様は  
ええ人や!



うん  
ほっとした

ホッ

よかったわ





# いせい 勇ましく、威勢良く、豊作を お願いする棒踊り

## 農業の盛んな地域ならではの行事

大崎町もそうだけど、鹿児島って農業県なんだよ。県全体を見てみると、三方を海に囲まれてはいるけれど、薩摩半島や大隅半島には緑豊かな大地が広がっているね。肝属川や川内川といった大きな川も流れているし、昔から人々は大地に種をまいて作物を育ててきたわけだ。田畑で取れる米、麦、キビ、アワ、豆を、五つの穀物こくもつということで五穀ごこくと呼ぶのだけど、この五穀が豊作であれば、人々は安心して暮らすことができた。しかし、干ばつが続いたり、台風や害虫が発生すると食べ物に困る。そこで、どうか今年は豊作でありますようにという願いをこめて、い  
ろんな踊りが奉納ほうのうされた。そのひとつが棒踊りなんだ。

## 南九州一帯で広がる伝統行事でんとう

棒踊りは大崎の農村だけではなく南九州一帯で踊られている。和服にたすき掛けをし、ひたいには鉢巻はちまきを巻いて、刀か槍やりのような長い棒を持って振りまわす。ふたりひと組になって、剣道のけいこのように棒をカチッカチッと合わせたり、なかなか勇ましい祭りなんだ。「オセロが山うかわで～前は大川～」という七夕調しちしちようの歌に合わせて「サーサーサッ」「インヤサ」「エイエイヤーサ」という威勢のいいおはやしも入ってきて、こんな元気な踊りを見せられたのでは、台風も寄りつかなくなるのではないかと思ってしまう。荒佐野でも、伝統を受け継いで3年に一回、春先に奉納されているんだ。



伝統を受けつぐ子どもたち

■ 第4話 — まずは水や、水を探さな

と  
今  
度  
は  
わ  
し  
ら  
が  
頑  
張  
る  
番  
や  
!  
お  
殿  
様  
や  
地  
元  
の  
た  
め  
に  
も  
わ  
し  
ら  
が  
荒  
佐  
野  
を  
豊  
か  
な  
土  
地  
に  
せ  
な  
あ  
か  
ん  
!



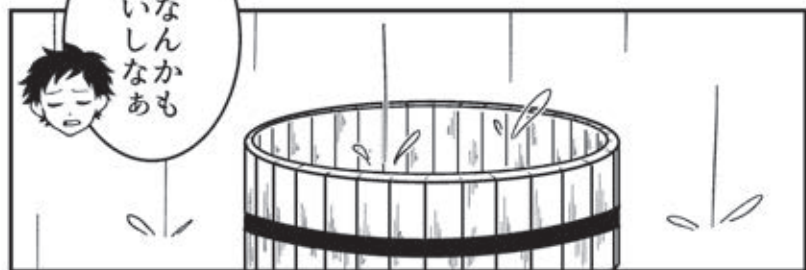
お  
お  
や  
っ  
た  
る  
で  
え  
ー  
!









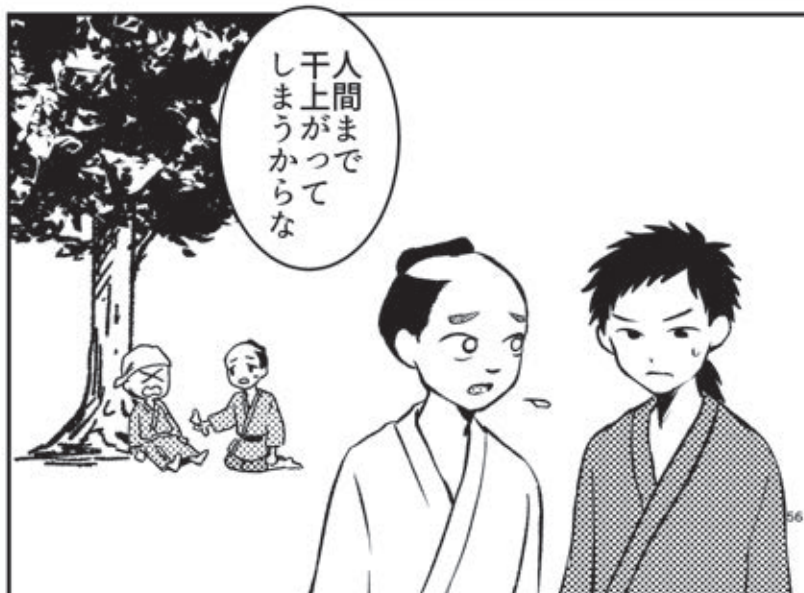




今の荒佐野からは想像もできないだろう



水がないと作物はおろか



人間まで干上がってしまふからな